



ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

昨日、県内の女性起業塾出身者の活躍が目立っています。塾の企画運営などに関わる者としては、各地で結果が出てうれしい限りです。

先月、女性起業セミナー(いしかわ女性基金)の受講生が3期で119人になったこともあり、このメンバーが、同じ夢を追いかける仲間との交流や研さん、共同イベントを目的とした会を発足。設立総

# 女性起業塾 花開いた

会では谷本知事から、百花繚乱のような愛らしい花畑を地域経済に咲かせるようにと、「いしかわ百花の会」と命名いただきました。

今日8日には、県内で仕事や地域活動など、様々な分野で活動している女性個人や団体を表彰する「いしかわ女性チャレンジ賞」の半分を、

14日には「女性のための起業支援セミナー」(金沢市女性センター)が、「女性起業家のタマゴ塾」をやってみませんか?」のテーマでスタート。25人が夢をかなえるために、地域経済に花を咲かせるために、学びとネットワークづくりに取り組んでいます。新たな芽生えのお手伝いができ、重責とワクワクした気持ちでいっぱい

女性起業塾関係者が占める大きな成果が出ました。団体賞を受賞した「のと女の会」は、のと・七尾女性起業塾(七尾市・七尾商工会議所)、「グループ小まめ」は、こまつ女性起業チャレンジ塾(小松市)出身者が中心。個々の地域に特化した活動を行っており、設立して3年前後

ですが、七尾や小松では皆さんに知られている会となっています。個人賞には、北陸3県の女性起業家や各所の起業塾出身のメンバーで構成されている「女性起業家交流会 in HOKURIKU(JKK)」から、障害者、高齢者の水泳指導を行っている「SWIM

した企画である点。3番目に、塾内で実践の場としてサービ